会議の名称	学校の統合を含めた本庄市立小中学校の教育環境の向上に関する説明会
開催日時	令和６年１２月１４日（土）　　15:00～16:30
開催場所	本庄市役所　６階大会議室
出席者	吉田市長、山下部副市長、下野戸教育長 【教育委員会事務局】笠原事務局長、武政参事 【学校教育課】西田課長、市川課長補佐、大澤課長補佐、 磐上指導主事、松島主査、宮原主事 【企画財政部】橋本部長 【企画課】柳課長、鈴木課長補佐 【保健部】榊田部長
参加者	１３０名
議題 （次第）	１　開会 ２　あいさつ ３　説明 本庄市立小・中学校の教育環境の向上について ４　質疑応答 ５　閉会
配付資料	・次第 ・【資料１】本庄市立小・中学校の教育環境の向上について ・【資料２】各公共施設の見直し方針（案） ・【資料３】「各公共施設の見直し方針（案）」に関する詳細資料 ・【資料４】見直し方針（案）に基づく主な施設の位置図

説明会の経過	
発言者	発言内容
学校教育課 （西田課長）	本日は大変ご多用のところ、学校の統合を含めた本庄市立小中学校の教育環境の向上に関する説明会にご出席いただきましてありがとうございます。私は本日の司会進行を務めます、学校教育課の西田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 ここで事前に皆様方にお願いがございます。会議の進行上、携帯電話、スマートフォン等をお持ちの方はマナーモードにしていただくか、電源をお切りいただきますようよろしくお願いいたします。

	なお、本日の説明会は開催記録を作成いたします関係上、会場全体の開催風景の撮影および質疑応答等の録音をさせていただきます。あらかじめご承知おきください。また皆様方には、録音、録画、写真撮影はお控えくださいますようお願いいたします。 本日の説明会の終了時刻でございますが、16 時 30 分を予定しております。限られた時間となりますがご理解いただきますようお願いいたします。 それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。初めに、本日の説明会に当たりまして、吉田市長よりご挨拶を申し上げます。
吉田市長	皆様こんにちは。外は大変寒い風が吹いている中ですが、本庄市役所の 6 階会議室へようこそお集まりいただきました。 今回お声がけをさせていただいた皆様方は、未就学児のお子さんをお持ちのお父さんお母さんでいらっしゃいます。市のこれまで行ってきた説明会等で本庄市においては将来にわたってお子さんの教育環境を確かなものとするために、学校の統廃合も含めたこれからの教育のあり方について、教育委員会を中心に考えてきたところでございます。その案がまとまりまして、今年の夏に各地域で説明会を開かせていただきました。 市としては、多くの方に周知が行き届くようにと思って努力をしてきたところではございますが、関心の高い地域と関心が薄い地域がそれぞれあり、また公共施設の統廃合についても盛り込んでおったところ、ご高齢の方の参加が多くて、若い方の参加が少なかったという状況がございました。そこで、中学校を対象に、中学生のお子さんには市のこれからの方針について、各中学校でお話をさせていただきましたが、改めて、若い皆様方を対象にこれからお子さんが就学をされる将来に対して色々な面でご不安をお持ちの方がいらっしゃるだろうということで、未就学児童のお子さんをお持ちのご家庭の方々に呼びかけをさせていただいたところでございます。 事前の申込みでは大変多くの方々に申し込んでいただきまして、今日もたくさんの方に来ていただいて、本当によかったと思っているところでございます。本日は教育委員会を中心に今後の市の教育方針について、これは学校の統廃合だけではなく、本庄市の教育を含めて、皆様にお話をさせていただきます。その後、質疑応答の時間をしっかりと設けたいと思っています。 今日はぜひ皆様の子育てをしている状況の中の、例えばお子さ

	んの将来の就学後のご不明な点、不安な点、あるいは希望する点など、今の子育て環境を含めて幅広い意見を頂戴できればと思います。こういう機会がなかなか設けられないので、ぜひ多くの皆様の生の声を聞かせていただきたいと思っております。録音をさせていただきますが、誰が何を言ったというような形では記録に残りませんので、ぜひ安心してご意見をおっしゃっていただきたいと思います。市役所としても子育て支援が大事だと思っておりますので、これからもしっかりやっていきたいと思っています。 もちろん財源的な制約があるので、簡単にできることもあればできないこともありますけど、皆さんに意見をいただかないと、なかなか先には進めませんので、今日はそういう意味でいい機会と思っております。 1時間半という形で設けさせていただきましたけども、質疑が早めに終わるようでしたらそこで打ち切りますし、あるいは白熱して時間が伸びるようであれば、私としてもお受けしようと思っておりますので、ぜひよろしくお願いしたいと思います。この後教育長の挨拶、教育委員会からの説明と続きますが、最後までどうぞよろしくお願い申し上げまして、市長としてのご挨拶とさせていただきます。 ありがとうございました。
学校教育課 （西田課長）	続きまして、下野戸教育長よりご挨拶を申し上げます。
下野戸教育長	改めましてこんにちは。教育長の下野戸と申します。 この会の趣旨については市長の方から話がありましたが、教育委員会としては、少子高齢化といった世の中で、これからの教育環境をどうしていこうかと数年前から考えてきました。いろいろと考えていく中で案を作り、昨年は各小中学校全ての学校運営協議会という地域の方を含めた会や自治会長の皆さんの集まりのところで説明させていただきました。 また、今年の夏には各小学校区で説明会をしましたが、その中でも、子どもの声を聞いたのかというご意見がありまして、公立中学校4校で学校教育の向上についてお話をさせていただきました。中学生なりに、自分の後に続く後輩たちの教育環境について、本当に真剣に考えてたくさんの質問をしてくれました。本当に時間が足りないぐらい、いろんな質問をしてくれました。その中で私達も気づくことがあったり、考えなければいけないこともたくさんありました。 今日はこれから小学校に通うお子さんをお持ちの皆様に来

	ていただきました。市長からもありましたが、忌憚のない情報をいただきながら、私たちも丁寧に情報を提供しながら進めてまいりたいと思いますので、本日もどうぞよろしくお願いいたします。
学校教育課 （西田課長）	それではここで、本日配付いたしました資料の確認をさせていただきます。資料番号は右上に印字してございます。最初に、説明会の次第になります。それから資料 1、本庄市立小中学校の教育環境の向上について、資料 2、各公共施設の見直し方針案。資料 3、各公共施設の見直し方針案に関する詳細資料。資料 4、見直し方針案に基づく施設の配置図。最後に説明会アンケート用紙の 6 点でございます。 資料の不足はございませんでしょうか。 それでは、次第の 3、説明事項に移らせていただきます。本庄市立小中学校の教育環境の向上について、学校教育課より説明いたします。その後、学校以外の公共施設の今後の整備方針について企画課より説明をいたします。少し説明が長くなってしまい申し訳ございませんが、続けて説明をした上で、質疑応答に移らせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
学校教育課 （大澤課長補佐）	（資料に基づき説明）
企画課 （柳課長）	（資料に基づき説明）
学校教育課 （西田課長）	それでは質疑応答に移らせていただきます。事務局よりマイクをお持ちいたします。ご質問やご意見のある方は挙手の上、発言をお願いいたします。
参加者①	このような会を設けていただきありがとうございます。 8 月の説明会では子育て世代の方がいらっしゃらなくて、すごくびっくりしたことを思い出します。このような会を設け、子育て世代を大事にしてくれるのは本庄市ならではと思いますので、希望を２つほど言わせていただきたいと思います。 学校の選択制についてですが、令和１３年度に統合をすると卒業前に転校となってしまう児童がどうしてもでてきてしまいます。廃校予定の学校に再来年度に入学する子どもがいまして、今の案だと５年生で転校になってしまいます。そうすると、ちょうど 10 歳くらいで第二次性徴の時期に環境がかわることになり、不安ですので、最初から大きな学校に通わせたいと思います。

	市役所の皆さんも、中学校入学後に不登校になってしまったり、大変な思いをする子がいることがわかっているからこそ、統合や小中一貫教育を考えてこられたのだと思います。５年生となると、１年生からの積み重ねで、グループが固定化している中、少数の学校の子が転入することに不安です。第二次性徴が始まる中、５年生で少数の学校の子どもが大きな学校に移ることは、中学校入学時の全員が１年生で一緒になるのとは状況が違うと思います。 また、兄弟で下の子が途中で統合となる場合に、上の子どもが小学校を卒業するタイミングで大きな学校に転校を希望するご家庭もいます。そういうご家庭にも学校を選択できると寄り添えるのではないかと思います。 現状、指定校変更の要件については、職場や学童入所などがあるとおもいますが、統合となる地域では農家や自営業の方が多く、該当にならない方が多いです。少子化などで学校が統合となり、どこかの代でしわ寄せがくることは承知していますが、廃校となる地域の子どもの人生に関わることですので、そういった方に対して学校を選択できるようにしてあげられるように望みます。 二つ目ですけども、スクールバスの乗車対象になりますが、統合される学校区の子どもで統合前に指定校変更などで統合後の学校に通っている子どもについても調整してもらえるようにお願いします。
教育委員会事務局 （武政参事）	そちらの部分については、説明会の中でも多くいただいていまして、検討していますが、現状の方向性を申し上げますと、統合前の学校選択を認めてしまうと、小規模校の児童数がさらに減少してしまう状況が想定されまして、原則として統合までは指定校でお願いしたいと考えています。 ただし、これまで同様に、やむを得ない事情での指定校変更という手続きはありますので、個別に協議させていただきたいと考えています。 バスの件につきましては今後統合準備委員会で検討していきますが、基本的には、本庄東中学校区でいうと、藤田、仁手地区のお子さんには通学用バスをご用意したいと考えています。
学校教育課 （西田課長）	統合になる学校同士での事前の交流事業や教職員の配置についても検討し、最大限の配慮をしていきたいと考えています。

参加者②	統合前の段階で統合先の学校の学用品を購入することは可能でしょうか。体育着等は先に購入できれば統合後も違和感なく使えると思うのですが。 また、交流事業について、月１回程度の交流では知り合いにはなれないと思うので、週１、２回、朝から帰りまで１日の流れに慣れ親しんで、本庄東小学校の子たちとコミュニケーションをとらないと、違和感が発生して子どもが学校に行きたくなくなってしまうと思いますが、どうお考えでしょうか。
教育委員会事務局 （武政参事）	体育着などの学用品については、先進自治体では統合後数年間はどちらのものも使用できるような対応をしているようです。具体的には統合準備委員会で決めたいと思いますが、皆さんがなるべく負担のない方法を探っていきたいと考えています。 交流事業については、たまに会うだけでは親しんでくれないということはあると思いますので、いただいたご意見を踏まえて検討していきたいと思います。
参加者③	統廃合は大人の事情じゃないですか。大人の事情で子どもを巻き込んで、なぜ小学校を選択できないと決めてしまうのですか。 交流事業についても、しっかりやりますって言いますけど、具体的に言わないので、何をやりたいかわかりません。
教育委員会事務局 （武政参事）	大人の事情ということですが、お金の問題も確かにありますが、少子化が進む中、将来の子どもたちにとってどうしたらいいか検討して、一番いい方法ではないかと出した案になります。 学校選択制については、それを認めてしまうと、小規模校がさらに小規模になってしまうことが懸念されます。
参加者③	それも大人の事情じゃないですか。私は中学生のときに仁手小学校から本庄東中学校に行って不登校になったので、言っています。お金がないからとか、人数が少ないからというのは完全に大人の事情ですよ。 正直言って、統合することはやぶさかではないですが、それならば最初から移動できるようすることが子どもへの配慮じゃないかなと思います。
教育委員会事務局 （武政参事）	昨年から説明会を行う中で、統合をいつやるのかはっきり示してくださいといったご意見をいただきまして、今回お示ししています。それに向けて今後準備をしっかりしていくために、皆さんに説明会でご意見を伺っている状況になります。

	交流事業については、ご心配はその通りだと思いますので、お子さんになるべく支障がないように進めたいと思います。
参加者③	私は環境が変わって不登校になりました。仲良くなった本庄東小の子もいましたが、それでも仁手小から来たって馬鹿にされて不登校になりました。子どもに同じことにあってほしくないと思って言っています。意見だけ言って、やってもらえなければ何の意味もないです。 大人の事情で勝手にやることじゃないですか、子どもの意見を全く聞いてないじゃないですか。だったら最初から移動できるようにしてもらうのが筋だと思います。自分の子どもが同じ条件だったらどう思いますか。嫌じゃないですか。
下野戸教育長	本当につらかったご自分の経験というのをお話いただいたことは本当に重く受け止めたいなと思っています。確かに大人の事情に見えるのかもしれませんが、私自身、子どもたちのためには、やはりある程度の規模の学校で仲間がたくさんいる方がいいと考えて進めています。 お父様もそのことについては理解すると言ってくださっているので、あとは学校選択について思いをいただきましたが、今ここで決定することはできませんので、参事の方からお話したように、ご意見として承らせていただいて、色々な思いの方がいると思いますので、また検討させていただきたいと思います。また、子どもたちが本当に不安のないように統合する新しい学校に行けるように、本当に心を配っていきたいと思っています。 また違う面の不都合があるかもしれませんので、強いお気持ちはしっかり受けとめさせていただいて、色々なことを総合的に考えながら、今後検討させていただきたいと思います。
参加者③	３人発言して、３人とも同じような意見じゃないですか。今現状 100％なわけです。
下野戸教育長	３人のご意見では 100％ですけれども、それが 100％と言い切れるかは少し違うのかなと思います。 この中にも、そうじゃないと思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、今日は皆さんにご意見を伺うということで、今伺っていますし、また、ここでは決定できませんが、アンケートでのご意見も受け止めさせていただきたいと思っています。
参加者④	ご説明ありがとうございました。教育委員会の資料の子どもが減っていくことによって、選択肢の幅であったりとか、

	同年代のライバルに触れる機会が減少していくというものはすごく共感するところがございました。 　学校規模の適正化の課題のデメリットで 2 点ありますが、確かに私も父親の立場なので、そうだなと聞いていました。 　一方で、吉田市長さんにご意見を伺いたいところですが、学校統廃合するっていうことの意味の本質ってここじゃないと私は思っています。何かっていうと子どもって言い方を変えると、未来がある存在です。 　子どもがいなくなるってことは、未来がこの地区にはなくなると言ったところで、選択と集中で選択されなかった地区への未来が断たれた印象を感じています。 　統廃合によって統合後を選択された小学校の場合には、いわゆる社会増があれば、よそから転入してくるところもありますが、廃校となった学校の周りって人がいなくなります。 　どんどん過疎が進んでいって自治が機能しなくなって道路清掃なんかもできなくなります。 　そういう意味で、学校統廃合って子どもの学校以外に、この本庄市の地区の一部のところに、もう切り捨てるよって言っていることに近いのかなって思います。 　今日のご説明を聞いた中で感じたのは、市税、財政、地域文化社会、カバーするためのテクノロジーといった観点とかを考えた上で、数が減ったから集めるだけではなく、何かこの統廃合以外の選択肢、どういった議論があってここに至ったのかを少しお聞かせいただければと思います。
吉田市長	統廃合については、だいぶ以前から議論はありましたが、学校はその地域にとって何世代も通った方々がいて、色々な面で文化的にも中心です。私としては、なるべく統廃合しないで、地域の中でという選択で行きたいっていう気持ちはありましたし、議論の中でもそういう話はずっとしてきています。 　ところが、例えば一つの例としてこういう現象が起きています。本来であれば、その地域においても何世代もわたって住み続けてこられて、その地域を今後とも、本当であれば担っていただきたいと思うご家庭の若いご夫婦が、市街地の方にお家を作っている。実家の周りに家を建てられるのに、あえて市街地の用地を買って家を建てていることが、一つ二つではないということを聞いたときに、現実やはり子どもの数が少なくなっていることを不安に思って、子どもの教育の環

	境を不安に思ってそういう現象が起きてしまっていると感じました。 　少し長い目で見たときに、中学校単位の中で、人数がたくさん増えてしまっているところであれば、当然小学校がいくつあってもいいと思いますが、そうでないのであれば中学校単位の中で、小中一貫で、教育をしていくという形に移行させていくことはあると考えました。 　例えば、今はオンライン等を使えば、自宅でも授業を受けられる時代です。行きたくないなら、家で授業を受ければいいという時代になってきています。しかし、できれば、フェイストゥフェイスで、対面で人と人とが触れ合って、そこで色々な切磋琢磨がある。もちろん、子どもたちに厳しい環境をあえて与えることも大切ですが、人間関係の面でたくましく社会を生きていけるためにもその訓練をお子さんの時代にどれだけ積めるかってことも大事と思います。 　中学校単位で、人数が少なくなっているところであれば、一つの小学校、一つの中学校で最終的には小中一貫の形に移行していくことも、必要ではないかと考えたところです。 　今日は、先ほど何人かの方から話がありましたが、移行期の方々が非常に不安だと思います。教育委員会としても私としても受け止めなきゃいけないと考えています。 　私の個人的な考えとしては、学校の選択制とした場合に、統合される学校に行く子どもが少なくなってしまったら、その子たちはどうするかって思いがあります。例えば、藤田の運動会は非常に団結力があります。私が中学の時もそうでしたが、小さな学校は団結力があります。それを持って、新しい学校に移行するっていうことも、一方ではあるかなと思います。最初からなじませていくって考えももちろんあると思います。あると思いますけど、今度は小規模校に残ったお子さんの問題も出てくるので、色々な事情を考慮していかないといけないと思います。 　先ほどのお父さんの話のように、色々な事情で不登校になってしまうことも現実にあるので、そういうお子さんに対するケアも大事だと思っています。 　感想めいた話で申し訳ありませんが、今お話を聞かせていただく中で、私としては人と直接触れ合うという意味では、小さなうちから環境を作っていくことが必要と感じています。

参加者④	吉田市長さん、ありがとうございます。背景や思いを聞いたところですかね、これは非常にありがたかったです。ありがとうございます。 市街地の方に子育て世代が市内を見ていても移動するってことで、ただ一方で、少数なのかわからないけれど、同じように逆のパターンで都市の真ん中からこっちに越してくる方々もいるわけです。その人たちが何を魅力に越してきたのか、どこに価値があったのかをぜひ考えていただきたいです。 もう１点が、フェイストゥフェイスとテクノロジーのお話がありましたが、仕事でリモートワークが増える中ですごく私も感じていて、部下のマネジメントでは、やはりフェイストゥフェイスがないとかみ合わないなと思うところもあって、ただこれはどっちかに傾けるべきではなく、バランスが大事だと思います。過渡期においてのハードランディングです。どちらかに傾けるよりは、バランスを取ってソフトランディングできる案を、何かもう少し模索された方がいいのかなって思いましたのでご意見としてお伝えさせていただきます。
吉田市長	理想とすると、学校がなくなった地域にお子さんが住まなくなるようにはしていきたくないという思いがすごくあります。 教育環境を考えると、市街地の方に行ってしまうのではなく、同じ学校にスクールバスで通える環境が提供できますというところを売りにしていくべきではないか、小学校単位でまんべんなくどこに住んでも同じ学校に行け、田園住まいを選択できるようにするとか、そういうことをやらないといけないと思っています。
参加者⑤	私は藤田小学校に通っている小学生と保育園児の子どもがいます。藤田小は小さな学校ですが、先生が１人１人を見てくれて良い学校だと思います。 藤田小はランリュックで、東小はランドセルですが、統合になっていじめに遭う不安があります。中学校で新たに１からとは違い、６年生で変更になり、すぐに仲良くなれるのか、修学旅行が楽しいのか不安があります。 他の行事のことに関しても同様ですし、また学童の問題でも、色々と不安があります。 確かにいつかはこういうふうになるのでしょうけど、高学年はそのままで、下の学年は統合しますというような学年ご

	とに分割して考えてもいいのではと思います。 　先ほど、ピンチをチャンスにとお話がありましたが、子どもにはそこまでの力はまだありません。 　大人には臨機応変に対応する力がありますけど、小学生はそこまでではない。そういうことを考えて行動していただきたいと思います。
学校教育課 （西田課長）	ご意見ありがとうございました。先ほどのご意見と同様に、今後検討させていただきたいと思います。
参加者⑥	資料の内容について、これまでどういった議論が行われてきたのか、どういったプロセスがあったのかがわかるようにしていただきたい。 　同じような意見を取り交わし、堂々巡りであったり、そういった質疑がなくなると思います。 　今までにこういった意見があって、どのように回答してきたのか、こういう意見にはこうサポートしていきます、外にこんな意見がありましたっていうのが、わかると良いと思います。
学校教育課 （西田課長）	ありがとうございました。今後進めるにあたり参考とさせていただきます。 　また、これまでに出た意見や資料の開示につきましては、市のホームページの方に掲載しておりますので、よろしくお願いします。
参加者⑦	ホームページが見づらいので、検索性のあるようにしてもらえると嬉しいです。
学校教育課 （西田課長）	承知しました。検討させていただきます。
参加者⑧	令和 8 年度に入学して、6 年生で統合になってしまう児童の保護者あてに学校毎の説明会の開催はありますか。 　また、説明会を開催する場合には事前に質問を聞いておいてほしいと思います。
教育委員会事務局 （武政参事）	現状では地域説明会や学校説明会については検討中ですが、丁寧に進めさせていただきたいと思っています。これまでの住民説明会や中学生への説明会でいただいた意見については、市の考え方と一緒にホームページに掲載させていただいています。 　今後の進め方については検討させていただきます。
参加者⑨	皆さんに聞きたいのですが、この説明を聞いて、統合賛成ですって方はいらっしゃいますか。いたら手を挙げてほしい

	のですが。 　今誰も手があがらないのですが、これが民意だと思うのですが、それを無視して進めるのが市政なのでしょうか。 　皆さん反対に思っていたり、不安に思っている内容があるとおもいます。説明を受けて嫌だけど、いろいろ不安だけど、ゼロにするためにこうしてほしいって提案をしていますが、無理ですって回答ばかりです。 　不安に思っている部分をこうしたら解消できますよねってお互いに議論して詰めていく必要があるのではないかと思います。
吉田市長	頂いたご意見をしっかり受け止めて、私の方から申し上げたいのは、まず一つ、できませんという言い方はしていません。皆さんは過渡期に関わる方々なので、これは本当に大事にしなきゃいけないと私は思っています。 　お子さんが本当に大丈夫だろうかっていう、その不安から来ているわけですから、これは真剣に受け止めます。ただ、方向性として、統合をやっていかなければならないだろうということは考えております。 　統合をしなければ、ますます教育環境を保障していくことがどうなるのかという考えがございます。 　出来上がったものに乗っかるのであれば、抵抗はあまりないのかもしれませんが、移行期が非常に不安なのだろうと思います。そこは私も改めて皆さん方からのご意見を聞いて感じたところですし、教育委員会も同じだろうというふうに思います。 　これはできませんとかではなくて、今日皆さん方から意見をいただいた上で何ができるか、皆さんと話し合いをしながら、どういう方法が考えられるかを今日いただいた意見だけじゃなくて、それぞれ皆考え方は違うと思うので、色々な意見を聞きながら考えていかなければならないと思っています。 　おっしゃりたいことはよくわかりましたが、私としても真摯に受け止めていかなければならないと思っておりますのでご理解いただければと思います。
参加者⑩	今回初めて参加させていただきまして、最初に教育長さんがおっしゃっていた、児童生徒が自らの人生を切り開き自立できるよう確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育を推進するためっていうところがすごく感動しましたし、それ

	を最初に聞いたからこそ、ちょっと具体的な質問をさせていただきます。 仮に今おっしゃった統合の案でいくとしたとき、我々の不安としては、体操着とかランリュックとか色々な方がおっしゃっていたのが本当に大部分というか、もちろん子どもの心の部分もそうですけれど、資料の三つ目とかに廃校した後の施設だとか、解体を検討しているみたいな資料があったと思いますが、きっと取り壊しするのにもお金は絶対かかると思いますし、新たに新設するのにもお金がかかると思います。 統合するのがおおむね決まっているのであれば、統合する対象の子たちに向けて、そういう財源的補助があったり、バスを使うとなれば、バスの運営費は我々が負担しなきゃいけないとなると抵抗がありますし、そういった現実的な面のところが個人的には気になっています。 これまでずっと検討されて、この決断になったっていうのがわかるからこそ、じゃあそれで進めるのであれば、そういった部分はどうしてくれるのかなと思います。 うちは6年生の時に統合する予定の子どもがいますが、5年生まではランリュックのある学校で過ごします。統合した先で、子どもがランリュックではなくランドセルで通いたいと言えば、通わせてあげたいのが正直親の気持ちで、それを負担してくれるのかなとか、気になりました。 アンケートの質問かもしれませんが、そういったところ、子どもも思春期に入るぐらいなので、ピンクのランドセルがいいとかって絶対なると思いますし、それが一生に繋がるか繋がらないかはわかりませんが、そういう実際に通う子どもの心情っていうのが私個人としてはすごく心配ですし、もちろんそれが最悪の状況でコミュニティから外れてしまったり、そういうことに繋がる可能性はもちろんゼロではないかもしれない。 物理的な部分で変えたいって子ども本人が言ったら変えさせてあげたいわけですよね。でもそれは、市が決めた統合の時期で、子どもは統合先で頑張ろうとしてくれているなかで、送迎費用を負担してくれないのはちょっと寂しいなって個人的に思います。 主人は東小出身で東小地区に家を構えようとしましたが、私は藤田の地域の密着力だったりとか、本当に仲いいんだよってお話を私も県外から引っ越してきたので、そういうのを

	事前に聞いていて、すごい素敵なところですし、歩いて小学校もいける強みとか、住むなりの理由を自分たちでリサーチして、今住まいにいるからこそ、感情にすごい乖離が生まれてどうしようみたいな感じの期間でもあります。 　統合して欲しくないなっていう気持ちと、統合するとおおむね決まってしまってるのであれば、現実的なお金の面だったり、色々な方がおっしゃった子どもの心情に寄り添う何かが、もう少し踏み込んだものがあったり、考えてるんですよっていうのを、いただけるのであれば、納得できるものが多少あると思います。 　未来を考えるのも大事ですけど、もっと近い未来の話が聞きたかったのでちょっと残念だったなっていうのが正直な印象です。 　そういった具体的な部分、私が今挙げたランドセルとか、他の補助とか、そういう何か案があるのか教えていただけると幸いです。
教育委員会事務局 （武政参事）	ご意見ありがとうございます。現状ですと、具体的なことについては、皆さんからご意見をお伺いして進めているところです。 ご意見いただきながら、進めさせていただきたいと思います。 　通学用バスを心配されてましたけど、通学用バスにつきましては、市の方でご負担させていただく予定です。
参加者⑩	ありがとうございます。ということは統合準備委員会で、その具体的な補助など検討するって解釈なのかなと思うんですけど、我々が知りたいのはそういったところです。 　買い換えたい方はご自身でお願いしますってなってしまうと、金銭的にも子どものメンタル的にも。ランリュックって結構安価で、機能性があって、何か画期的だなって最初初めて見たとき思いました。ランドセルってそれに比べるととても高価ですし、1年しか使わない。でも子どもが、皆が一緒なのに私だけこのリュック嫌だとなったときに、親心としては一緒のものを何か買ってあげたいなって思います。 　こちらが確保するのが当たり前のことだと思いますが、何かそういうところの部分で、どうにかしてもらえる案があることが、我々としてはすごく安心できるので、全て抽象的に今後考えますとご回答いただいてしまっているので、それっていつ決まるのですかって思ってしまいます。 　私はこれからも説明会に参加してみたいと思いましたが、

	次回参加したときに変わんないなって思うと、みんなフラストレーション溜まっちゃうだけになってしまうと思うので、何か願いを込めて今日我々が話した質問だったり意見っていうのを、なるべくわかりやすい形で回答してもらえると嬉しいです。
下野戸教育長	何も決まってないじゃないかって思いが今おありなのかもしれませんが、今日皆さんの親御さんとしての考えやお話をたくさん聞くことができましたので、それは受けとめさせていただいて、しっかり回答できるようにしていきたいと思っています。 また、言い足りないことは、アンケートに記載して、お伝えいただければ幸いです。本日はありがとうございました。
吉田市長	私からもお礼申し上げます。 やはり過渡期の皆様の想いをどのように受けとめるかっていうのが本当に大事だなってことは、今日感じさせていただきました。今までの説明会では、その当事者の方ってすごく少なかったので、途中で学校が変わる皆さまの思いを受けとめさせていただきました。 具体的なことは確かにまだ決まっていませんが、財政面も含めて、皆さんの思いをしっかり受けとめて、できることをしっかりやらなきゃいけないなということを感じたところでございますので、今後も説明会等でご意見を出していただきたいということをお願いします。 今日は本当にありがとうございました。
学校教育課 （西田課長）	それでは、以上で質疑応答を終了したいと思います。 貴重なご意見ありがとうございました。 なお本日、アンケート用紙を皆様にお配りしております。本日の質疑応答以外にもご意見等ございましたら、ぜひそちらにご記入いただければと存じます。その際のご意見の有無に関わらず、お帰りの際には、会場出口付近に設置しておりますカゴに入れていただきますようご協力をお願いいたします。 いただいたご意見等は今後の協議検討に向けた参考とさせていただきます。それでは次第の５、閉会でございますが、山下部副市長より申し上げます。
山下部副市長	本当に長時間にわたりまして、ありがとうございました。外も暗くなっていると思いますので、気をつけてお帰りいただければと思います。

	一点だけ、先ほど統合した後にお子さんがいじめにあうのではないかとお話があったと思いますが、実は私も小学校の頃に小学校１年生から３年生まで複式学級に入っておりました。男の子が２人しかいませんでした。 その後、4 年生から統合して、それなりの規模の学校に行きましたが、やはり不安はものすごくありました。男の子２人でいじめられるのではないか、何か言われるのではないか、いろいろありましたが、今考えてみると、統合された学校に行ったことによって、良かった面も多々あったと感じております。 ただ、お父さんお母さんにしてみれば、自分のお子さんが大きな学校にいくことに対して、ものすごく不安もあると思います。そういった不安に対して、市役所、教育委員会が真正面から向き合っていかないといけないなと痛感したところでございます。 これから色々なことを詰めていきたいと思いますので、引き続き皆さんのご意見をいただければと思います。その上でご協力をぜひお願いしたいと思います。 本日は本当に長い間ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。
学校教育課 （西田課長）	以上をもちまして、学校の統合を含めた本庄市立小中学校の教育環境の向上に関する説明会を終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。